

三朝温泉の小路

温泉地での楽しみはゆったりとした湯船に浸かり心身ともに疲れを取ることにある。更に温泉の効能によっては様々な治療にもなるようだ。私も狭い我が家の風呂よりも広々とした浴場が好きである。まして露天風呂となると自然と融合しての開放感は最高だ。

もう一つの楽しみに温泉街をそぞろ歩きで散策するのも癒しのひと時を与えてくれる。携帯電話も持たずに旅館などの浴衣や丹前を羽織って下駄や草履などでの外出だ。地元特産の土産物店、遊技場、飲食店、スナックなどの街並。すれ違うどの人も湯上りの紅潮した顔をしている。お腹も満たされ幸せいっぱい楽しんでおられる。太平な世の中の一場面だ。



鳥取県三朝温泉に宿泊したことがある。日頃の睡眠不足と疲れ解消の為、早く寝るのも選択肢ではあった。しかしせっかく来たのだからもっと夜の時間を楽しみたいと下駄をはいて温泉街へ繰り出した。目的も用事も何もない中、「ランコロ〜ランコロ」下駄の音は心地よかった。土産はあまり買わない方だが「とち餅」が人気とのことで一つ食べてみた。搗きたてのふんわりとしたやわらかい餅に、ほんのりと控えめな甘さに栃の実の風味が加わり美味しく頂いた。こうしたことが細やかながらも幸せなひと時を与えてくれる。時間が経つにつれ少々体が冷えてきた。旅館に戻ってもう一度温泉に浸かり、ポカポカの体で蒲団にもぐりこんだ。それは至福の中での眠りとなった。

撮影 2014 年秋

